



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 フクビ化学工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7871 URL http://www.fukuvi.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)八木 誠一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役企画管理本部長 (氏名)柴田 寿裕 (TEL) (0776) 38-8451
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	9,661	2.6	422	137.5	485	130.1	360	120.9
30年3月期第1四半期	9,421	2.4	178	△24.1	211	△27.0	163	△21.0

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 175百万円(△54.4%) 30年3月期第1四半期 384百万円(533.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	17.48	—
30年3月期第1四半期	7.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	48,065	30,587	62.5
30年3月期	48,266	30,623	62.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 30,018百万円 30年3月期 30,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	7.50	—	10.00	17.50
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,800	1.9	580	53.3	670	48.6	450	△26.2	21.83
通期	41,000	2.0	1,400	2.8	1,600	1.2	1,150	△12.6	55.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	20,688,425株	30年3月期	20,688,425株
31年3月期1Q	72,828株	30年3月期	72,828株
31年3月期1Q	20,615,597株	30年3月期1Q	20,615,597株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善が続く一方で、原材料価格の上昇から生産の増加ペースが緩やかとなるなど、一部で回復の動きが鈍る展開となりました。個人消費も横ばい圏で推移しましたが、雇用情勢の改善は続いており、今後企業の設備投資の増加も見込まれるため、総じて景気回復の動きは維持されるものと予想されます。

住宅業界におきましては、平成30年度4月～6月の新設住宅着工は、戸数245千戸（前年同期比2.0%減）、床面積19,621千㎡（同3.8%減）となり、共に前年同期水準を下回る結果となりました。

このような環境の下、当社グループでは事業別に重点分野を定めて拡販活動を推進しています。

建築資材事業では、リフォーム、非住宅分野に注力いたしました。特に非住宅分野では、4月に実施した建築工事関連部門の組織変更により、営業の効率化と顧客との関係強化を図ったこともあり、施設や事務所向けシステム床関連製品の販売が拡大するなど順調に推移いたしました。

産業資材事業では、窓枠部門の生産性改善に努力したほか、車両向けの新規顧客獲得を推進しました。また、精密分野では、車載用表示機器用途への拡販に向けた新製品の開発に注力し、受注につなげております。

海外市場においては、今後の受注拡大に向けた戦略を推進しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,661百万円と前年同期に比べ2.6%の増収となりました。

一方、利益面につきましては、工場再編等の生産体制の効率化を推し進めた効果が寄与し、収益力が向上したことにより、営業利益422百万円（前年同期比137.5%増）、経常利益485百万円（同130.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益360百万円（同120.9%増）となりました。

事業別の売上状況は、以下のとおりであります。

〔建築資材事業〕

主力の建築資材事業の売上は、6,816百万円（前年同期比1.7%減）で、売上高全体の70.5%を占めました。

うち外装建材は、1,341百万円（同1.2%減）でした。窯業系外装材が低調に推移しましたが、防水部材・樹脂製瓦棧は順調に推移しました。

内装建材は、2,711百万円（同5.4%減）でした。点検口部材が伸び悩みましたが、浴室用パネル・防音遮音部材は堅調に推移しました。

床関連材は、1,966百万円（同5.6%増）でした。機能束が伸び悩みましたが、床支持具・乾式遮音二重床システム部材・樹脂系床仕上材は好調に推移しました。

システム建材は、799百万円（同5.9%減）でした。防蟻関連材が低調に推移しましたが、木粉入り樹脂建材・空気循環式断熱システム部材は堅調に推移しました。

〔産業資材事業〕

産業資材事業の売上は、2,845百万円（同14.3%増）で、売上高全体の29.5%を占めました。車輛部材が伸び悩みましたが、住設部材・精密化工品が好調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ201百万円(前期末比0.4%)減少し、48,065百万円となりました。主な増減要因としましては、流動資産では、現金及び預金が390百万円増加、また商品及び製品が252百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が788百万円減少したことなどにより、73百万円(同0.2%)の増加となりました。固定資産では、有形固定資産が57百万円減少、また投資その他の資産が201百万円減少するなど、275百万円(同1.8%)の減少となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ166百万円(前期末比0.9%)減少し、17,477百万円となりました。主な増減要因としましては、流動負債では、賞与引当金が267百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が179百万円減少、また未払法人税等が191百万円減少するなど、21百万円(同0.1%)の減少となりました。固定負債では、リース債務が3百万円減少、また繰延税金負債が145百万円減少するなど、144百万円(同9.2%)の減少となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ35百万円(前期末比0.1%)減少し、30,587百万円となりました。その他有価証券評価差額金が141百万円減少、また為替換算調整勘定が26百万円減少したことなどによるものです。株主資本合計は、利益剰余金が154百万円増加したことにより、28,231百万円となりました。この結果、自己資本は30,018百万円となり、自己資本比率は62.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては依然として不透明な状況が続くものと予想されますが、現時点において平成30年5月11日公表の連結業績予想に変更はありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,439	9,829
受取手形及び売掛金	15,597	14,809
電子記録債権	2,509	2,707
有価証券	20	20
商品及び製品	2,680	2,932
仕掛品	646	678
原材料及び貯蔵品	1,070	1,088
未収入金	1,168	1,107
その他	73	100
貸倒引当金	△4	△0
流動資産合計	33,197	33,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,365	3,308
機械装置及び運搬具(純額)	1,863	1,824
工具、器具及び備品(純額)	239	254
土地	1,920	1,918
リース資産(純額)	445	452
建設仮勘定	151	171
有形固定資産合計	7,983	7,926
無形固定資産		
その他	207	189
投資その他の資産		
投資有価証券	3,971	3,777
長期前払費用	161	165
退職給付に係る資産	2,466	2,466
繰延税金資産	37	34
その他	243	236
投資その他の資産合計	6,879	6,679
固定資産合計	15,069	14,794
資産合計	48,266	48,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,456	12,277
短期借入金	270	259
未払金	167	210
未払法人税等	424	232
未払費用	1,131	1,213
賞与引当金	532	798
その他	1,090	1,057
流動負債合計	16,068	16,047
固定負債		
リース債務	420	417
繰延税金負債	806	661
役員退職慰労引当金	302	308
退職給付に係る負債	47	43
固定負債合計	1,575	1,430
負債合計	17,643	17,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,511	1,511
利益剰余金	24,407	24,562
自己株式	△36	△36
株主資本合計	28,076	28,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,420	1,279
為替換算調整勘定	50	23
退職給付に係る調整累計額	494	486
その他の包括利益累計額合計	1,963	1,788
非支配株主持分	583	569
純資産合計	30,623	30,587
負債純資産合計	48,266	48,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,421	9,661
売上原価	7,031	6,976
売上総利益	2,390	2,686
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	601	634
広告宣伝費	60	49
役員報酬	52	51
従業員給料	515	536
賞与引当金繰入額	142	143
減価償却費	82	82
賃借料	154	162
その他	607	607
販売費及び一般管理費合計	2,212	2,263
営業利益	178	422
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	51	57
その他	24	29
営業外収益合計	75	87
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	5	16
その他	35	7
営業外費用合計	41	24
経常利益	211	485
特別利益		
固定資産売却益	2	-
保険差益	-	19
特別利益合計	2	19
特別損失		
固定資産除却損	5	1
その他	-	0
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益	207	503
法人税、住民税及び事業税	137	223
法人税等調整額	△89	△81
法人税等合計	48	142
四半期純利益	159	361
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	163	360

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	159	361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	△141
為替換算調整勘定	△31	△37
退職給付に係る調整額	9	△8
その他の包括利益合計	225	△186
四半期包括利益	384	175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	184
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。